

令和4年3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 防犯カメラ維持管理事業 |
| 事業実施前の状況 | 一部死角になり不安全、及び、犯罪者の逃走経路となるのではとの指摘及び、要望有り。 |
| 事業実施後の状況 | 設置個所も増え、安全で安心な暮らしが出来る。又、第三の目（者）による長期休暇（夏休み/大型連休）期間中の見守りが可能となる為、継続とする。 |
| 事業の効果 | 設置個所が増えたことによる抑止効果ありと判断します。 |
| 今後の課題等 | リースのような、安価な設投で、管理費の低減を図る。 又、家庭用防犯装置費用支援/援助策を提案し、各家庭への防犯装置設置希望者を募り、自らの防犯意識向上を促進させ、地域一丸となった防犯対策を実施する。 又、他地域（行政）が取り組んでいるドローン等を活用した防災/防犯体制及び地区放送も再度提案/検討し維持管理（資格免許/教育含め）の促進。 |

様式第4号

2022年 3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

会長名 松井 好一朗



記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 地域内会館備品整備会事業（石橋北会館） |
| 事業実施前の状況 | 利用者から膝、腰が悪く、和室利用の際、座位で立ち上がる折に痛く又、机等の備品の格納等に苦慮していた。 |
| 事業実施後の状況 | 利用者からの要望に合致した、備品が配置されて好評である。 |
| 事業の効果 | 利用する高齢者も机、椅子ともに軽く出し入れ等がスムーズに出来て、参集する会議が増えている。 |
| 今後の課題 | 会議等のリーダーに共同備品であることを利用者に意識、認識を周知徹底を図る。 現状畳敷きの上にカーペットを敷いて利用しており、洋式様にフローリング様式にリホームしたい。 |

以上

2022年 3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 松井 好一朗



記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | コミュニティ倉庫設置事業 |
| 事業実施前の状況 | 防災道具やイベント利用備品の収納場所が手狭となり学校の倉庫を借りて収納している。 |
| 事業実施後の状況 | 設置が1年延期された事業であった。 学校倉庫に収納された物は、整理されているがコロナウイルスの感染拡大で移動が出来ず現状である。 |
| 事業の効果 | コロナウイルスの感染拡大で現状維持であり、感染防止強化期間が解除され次第、選別格納する。 |
| 今後の課題 | 備品格納明細を記し利用後の格納時、保管確認者を配置して混載を防ぐ。 |

以上

様式第4号

2022年 3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 松井 好一朗



記

| | |
|----------|-----------------|
| 事業の名称 | 地域行事等活動促進事業 |
| 事業実施前の状況 | |
| 事業実施後の状況 | コロナウイルスの感染拡大で中止 |
| 事業の効果 | |
| 今後の課題 | |

以上

様式第4号

2022年 3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 松井 好一朗



記

| | |
|----------|-----------------|
| 事業の名称 | 市民レクリエーション大会事業 |
| 事業実施前の状況 | |
| 事業実施後の状況 | コロナウイルスの感染拡大で中止 |
| 事業の効果 | |
| 今後の課題 | |

以上

2022年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井好一朗



記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 地域コミュニティ紙等発行事業 |
| 事業実施前の状況 | コミュニティ各部会が行う事業や関心のある課題を住民に周知することでコミュニティの存在と役割を知ってもらう事業。 |
| 事業実施後の状況 | 年間2回のコミュニティ紙の発行事業で、旭丘、井口堂及び石橋における活動内容と地域性を広く伝達できた。 |
| 事業の効果 | コロナ禍に関係したこと、地域ボランティアの人材募集、学校と地域のつながり、石橋コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く周知することが出来た。 |
| 今後の課題等 | コロナ禍のボランティア活動に及ぼす影響と対応、自然災害時の対応、ボランティア人材募集、敬老の里プロジェクト、等の記事を扱いたい。 |

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

| 事業の名称 | 避難行動要支援者対策事業 |
|----------|---|
| 事業実施前の状況 | 引き続きの事業で 要支援者への顔なじみもできている |
| 事業実施後の状況 | 地区の要支援者の近況や所在確認した |
| 事業の効果 | 現況調査も引き続き行い、要支援者の方々には安心して生活してもらえている。お渡ししている個別避難計画書もなくさないようにファイルを用意した |
| 今後の問題点 | コロナ禍で 実際にお会いすることもためらいながらも、委員が電話やインターフォン越しでお聞きすることもあり、不審がられることも少なくない。早くコロナの心配なく対面で安心して対応できることを祈念する |

令和4年3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 地域防災体制強化事業（避難訓練/防災備品整備） |
| 事業実施前の状況 | 緊急時に誰が何をどうすべきなのか知識及び経験が不足しているため、緊急時の対応が取れない、又、新型コロナ等が発生した場合の避難及び避難所での対応方法等についての新しい知識習得も必要不可欠となります。 |
| 事業実施後の状況 | 組織網の整備及び、緊急時の対応（訓練ではあるが）体験及び各種(新)知識の向上が図れた。又、状況に応じた、訓練方法の変更（2部体制）も滞りなく遂行できました。 ・1部(午前の部)；石橋小学校110名 ・2部(午後の部)；石場中学校130名 又、備品購入に於いて、コロナ禍での各種災害時の避難を考慮しての購入項目変更/選択、ならびに、燃料(石油系)高騰の中、脱炭素に向けた停電時対応用の電源確保に向け(太陽光利用)用に発電機(エコ)も購入し、使い勝手を検討した上で、今後、各家庭への推奨アイテムの一項目として提案出来る様テストを実施。 |
| 事業の効果 | 地域住民、学校、施設他及び行政の協力の下、連携を取りながら訓練が出来た。今回は特に2部体制としたことによる学校の教職員様のご理解及びご協力に感謝いたします。 参加者各自の経験となり記憶の片隅にでも残れば、いざという時の助けになると期待します。同じことの繰り返しではあるが、継続は力なりを念頭に継続実施必須。 |
| 今後の課題等 | 各種の災害時（発生時間）に即対応出来るか、訓練内容（夜間含め）を変えつつ継続実施する。学校の設備に頼らず、公園等にて何も無い場所で一から炊き出し等が可能かやってみる価値あり。又、傷の手当他、身近にある品物を応用し、簡単に出来る方法等も織り込んでの実施としたい。 |

令和4年3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 地域内会館備品整備事業 |
| 事業実施前の状況 | コピー印刷機設置以前は各団体や各自でコピー等 コピーをとって、印刷の費用と時間をとっていた。 |
| 事業実施後の状況 | コピー印刷機設置後は各団体の会館で、コピー、 レシヨ等印刷出来ることになり便利になった。 |
| 事業の効果 | 費用、時間を大幅に短縮軽減出来、各団体及び地域の 住民に多くの利益をもたらしている。 特に政教分離の場合他に迷惑をかけずに行き喜ばれている。 |
| 今後の問題点 | 設置場所が会館の2階の廊下にあるため 部屋の中に設置したい。 |

令和4年3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | リサイクル活動事業 |
| 事業実施前の状況 | キャップ回収量増加によるボックス不足、人材不足 他地区からの依頼にどう答えるかの課題 |
| 事業実施後の状況 | 今年度井口堂北会館南側に2個増設、コミュニティの 地域交流部会員の協力参加、石橋森福祉センター2階 |
| 事業の効果 | 他地区内のボランティアが運んで来てくれるようになり、増量 課題の解決に貢献している。 |
| 今後の問題点 | 長年続く事業であるので、初心にもどって、地域の 小中学校への(SDGs)協力参加を再度働き かけることが必要になって来た。 |

令和4年3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一郎



記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 交通安全モラル啓発事業 |
| 事業実施前の状況 | 一旦停止無視/スピードの出し過ぎ/無灯火/ながら(スマホ操作他)運転等、手本となる成人が違反行為を繰り返し、罰則に抵触する知識の欠落及び自転車の正しい操作方法等の知識不足且つ、賠償保険の重要性に乏しく、年々賠償保険金額の上昇等、無知では済まされない状況下である。 |
| 事業実施後の状況 | 本年度も新型コロナ感染拡大防止等により、行政指導に基づき、安全運転教室は中止としました。今後の状況も踏まえ、一同に揃っての講習会等が出来ない場合を考慮し、いつでも、どこでも好きな時間に、リモート等での勉強会実施、各家庭での教育ビデオ鑑賞が可能になるようビデオの貸し出し等新たな提案を実施予定。 |
| 事業の効果 | 新型コロナ感染拡大防止の行政指導により、安全運転教室等を中止した場合でも、各学級並びに各個人毎に、リモート含め、密に関係なく勉強会の実施が可能となり、知識の向上及びモラル向上が図れ、安全に結びつく。家族ぐるみでの知識向上が図れる。 |
| 今後の課題等 | 子供達を中心に継続実施はするが、指導者であるご両親・おばあちゃん及びおじいちゃんへの指導(認知向上)及び注意が急務と思われる。他、保険への加入促進、並びに自転車の点検等地域の自転車店様のご協力の下、展開が必要である。今回のような異常事態が今後もありうることも想定しながら、臨機応変に対応が可能となる仕組み及び、運営方法の検討も考えつつ、日々の地道な地域住民の協力の下、自転車だけでなく、交通安全全般に全員で取り組む必要性あり。 |

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 地域美化整備事業 |
| 事業実施前の状況 | 継続して地域の公園を整備し、花を植えて美しい街にしていって |
| 事業実施後の状況 | 雨で流れる土を整備しやすくするため杭を用意した。引き続き地域に花を植えたプランターを配布した。 |
| 事業の効果 | 小学校との交流として、ペットボトルキャップを回収してできたプランターに花を植え、生徒たちに資源回収の大切さや回収された後がプランターになるという面白さを伝えたこともこの事業の目的である。 |
| 今後の問題点 | 公園の夏の間の水やりの大変さは 毎年の課題である。水やりをあまり考えないですむ美化整備を検討中である |